

SHIN CLUB 112

(株)ユニホー辰カンパニー 東京都渋谷区渋谷3-8-10 JS渋谷ビル5F tel/03-3486-1570 fax/03-3486-1450



今月のトーク/monthly talk

富士見台の家 T邸 改修工事 撮影：編集部

天国への道

ポップスの帝王、マイケル・ジャクソンが6月25日亡くなりました。50歳という若さでした。ギネスブックでは、史上最も成功したエンターテイナーとして認定されており、7月7日に行われた追悼イベントには、遺族や交友があった著名人、ファンらが参加、TVやインターネットで世界中にその模様が配信されました。

5歳のときからステージに立ち、兄弟でジャクソン5としてデビュー。ソロになってからもその歌や「ムーンウォーク」などのダンス・パフォーマンスは注目を集めました。80年代以降はたびたび来日し、結婚や離婚、整形手術への執着、児童性的虐待疑惑（すべて無罪判決）などタブロイド紙の標的になる一方、慈善活動にも熱心でした。5億ドル（日本円で約500億円）ともいわれる遺産の行方も気になりますが、最後は誰もが認めるすばらしいアーティストでした。

さて、今月の「Front Line」にお迎えしたゲストは、日本で初めて遺品整理業の会社を立ち上げた、「キーパーズ」の吉田太一社長です。取材のご協力をお願いした背景には、「都心の一人暮らしの老人の増加が、地域資源としての住宅の有効活用に、大きな阻害要因になっているのではないか」という疑問がありました。古い戸建てやマンションに、近所の迷惑を感じることなくモノを溜め込み、ゴミ屋敷、ゴミマンションと呼ばれながら、自分の暮らし方に固執するお年寄りたち。身内との同居を固辞し、そのうち認知症の前段階に入り、生活を廻す能力がなくなっていく。周囲は心配で何とかしてあげたい一方、個人の尊重という大前提があり、うかつに関わることができません。火災などの危険や、万一孤独死という事態になったとき、後の煩雑な

処理を引き受ける人の迷惑は甚大です。また、貸家や賃貸マンションのオーナーは、そのことの重大性を認識しつつも、手をこまねいておられるのではないのでしょうか。

「問題解決に向けた努力や仕事をしている人はいないだろうか」とネットで検索していたら、行き当たったのが、「遺品整理業」という言葉、そして「キーパーズ」という会社でした。

2006年頃から、メディアでも紹介され、ご存知の方も多いでしょう。社長自身が仕事を通してつづるブログ「現実にある出来事！」が話題を呼び、「孤独死、自殺、遺品、ゴミ屋敷、相続」などのキーワードが現代社会の闇の部分に照らし出します。例えば「孤独死」は、決してお年寄りのものだけでなく、50代の働き盛りの人の病気による突然死から20代の若者の自殺まで様々であり、何ヶ月も発見されない現場は悲惨なものとなるのです。

「キーパーズ」では、いざという時のために家族に残しておきたい「エンディングノート」や孤独死の老人をテーマにしたアニメDVDも製作し、その他いろいろな啓発運動を行っています。私たち建築関係者も、より快適な街づくりに貢献するために、その前段階で「キーパーズ」のCSR（企業の社会的責任 Corporate Social Responsibility）を大いに見習いたいものだと感じました。

「死に際は生き様を語る」と吉田社長は言います。私たちはマイケルほどの資産もなく、慈善活動も出来ないまでも、これから自身の生活を見直したり、周囲のお年寄りを気にかけて、ちょっとしたおせっかいをすることで、社会全体を良い方向に向けたいものです。

富士見台の家 T邸 改修工事



グレード感を大事にしたマンションリフォーム工事

築15年を迎える低層マンションの1室の全面リフォームである。施主は私と同年代のご夫婦。設計依頼は輸入衛生陶器販売会社のウェブサイトを通じて飛び込んだ。

現場はバブル時代のハイグレードマンションであり、子供のいないご夫婦2人住まいということもあり、特にリフォームの必要性を感じるものではなかった。そのため、今回リフォームするからには現在の暮らしとその後の暮らしが劇的な変化を遂げるものでないと実施する意味がない。

しかし、使い勝手そのものは現在と大きく変わることは許されない。なかなかマニアな予感のする依頼だけにこちら側も期待に応えるために作戦が必要だった。お二人がこの先、本当に好きなものだけに囲まれて住もうための思い切ったインテリアが強く求められていることだけは明らかだった。

また、終の住処として我々にデザインを託したこのすまいはご夫妻とともに美しく年を重ねていくものでなければならない。そこで、2つの目標を設定した。

1つには収納機能に於いて徹底的につくりこむこと。このつくりこみに於いてはこれまでの使い勝手から逸脱するものがひとつもあってはならない。

次に天然の材料にこだわること。天然の材料故に起こる不揃い、傷、ムラ等はむしろ歓迎することとした。

特に長い廊下のRC壁の表面に取付けたレザーパネルが発する天然革の芳香は、ルートロン調光システムによって制御されるウシオスペース製のフィルター制御された怪しげな光によって、その存在感を五官で感じ取ることができる重要なインテリアの要素として扱った。

桑原聡建築研究所 桑原聡



マンションリフォーム工事

設計：桑原聡/桑原聡建築研究所

施工担当：竹原

引渡し：2009年6月

撮影：編集部（⑥⑧のみ桑原聡建築研究所）



①リビングと寝室の間仕切り家具。造作家具はすべて桑原氏のデザイン。現わしになったRCの梁がアンティコスタッコ塗装の天井にアクセントを加える②寝室のベッド。壁にカーペットをあしらひ、アーティスティックな空間となっている③ダイニング。大理石のカウンターテーブルの下部にはワインセラー④キッチン設備は奥様の希望でガゲナウなど、海外のメーカーのものが多く。レンジは使わない主義とのこと⑤洗面所とバスルームは強化ガラスを間仕切りに使った在来風システムバスルーム、INAXのSUITEROOM(スイートルーム)⑥レザーパネルの壁が美しい廊下。正面に桑原氏デザインの飾り棚が見える⑦ライブラリー。天井まで漆黒の本棚を設置⑧玄関。煉瓦敷きの床、鏡の壁面の中に飾り棚が設けられている⑨緑豊かな共用部分

天国への引越し屋さん

キーパーズ 代表取締役 / 吉田 太一



撮影：アック東京

Taichi
Yoshida

キーパーズ関連出版物（左から）：
家族のために残しておきたい情報を
記入する「エンディング・ノート」、
さだまさし著「アントキノイノチ」、
吉田太一著「遺品整理屋は見た!!」

今月は、2002年、「天国へのお引越し」をキャッチフレーズに、日本初の遺品整理専門会社「キーパーズ」を設立された、吉田太一さんを訪ねました。「遺品整理業」とは、亡くなった人の遺品を遺族に代わって整理し、あるものは処分に廻し、あるものは遺族に形見として届け、あるものは僧侶を呼んで供養し、故人の元へお送りするという仕事です。吉田さんは『現実にある出来事の紹介』（<http://www.at-at.jp/>）というブログの中で、何週間も発見されなかった孤独死や自殺の現場を語り、各方面に反響を呼びました。

年間 3 万人の自殺者、増える老人の孤独死。皆様、人生のエンディングへの備えは万全ですか。

—これまで出版されたご本を拝見しましたが、孤独死で亡くなった方の話などを読むと、本当に他人事ではないと痛感します。死後何週間も経ってから発見される現場は、想像を絶する空間になっているわけですね。そもそも、こんな大変なお仕事を始められたきっかけは何だったのでしょうか。

吉田：若い頃からサラリーマンには興味がなくて、いろいろな仕事をやりながら、常に「人がやったことのない商売をやりたい」と考えていましたね。運送会社に5年ほど勤めた後、コンビニ経営を目指しましたが挫折、自己破産の一手前まで行きました。借金して軽トラックを買って独立し、運送業を始めましたが、頼まれたら何でもやりましたね。断るのは大嫌い。棚をつけてくれ、とか、内職やる人いないかとか、どんな相談にもものって、自分が応えられる—それが満足につながるんです。その後、全国に先駆けて引越し屋のリサイクルショップも始めていましたし、HPの自社制作も1997年から行っていました。

ある時、ご遺族の依頼で遺品整理をお手伝いする事になったのです。しかし、当時は遺品整理の何もかも相談に乗って手伝ってくれる会社がありませんでした。そこで私が「全てお任せ下さい！」とお話したらとても感激してもらえたのです。その時、私は「よっしゃ！遺品に関する一切を断らない会社を創ろう」と思ったのです。変死や自殺現場は想定外でしたけどね（笑）

「人間どうせいつかは死ぬけれど、誰にも気がついてもらえない生き方はやめて、楽しく暮らしましょう」

吉田 太一

1964年 大阪府生まれ
1983年 高校卒業後、日本料理店で板前修業
1984年 単身上京、21歳で飲食店店長に抜擢されるが、1年後閉店。職を転々とする。
1988年 結婚、大阪へ戻り、佐川急便に入社。宅配ドライバーを5年間勤める。
1994年 独立、大阪市に吉田運送創業。運送業、引越し業務開始。
1996年 全国に先駆けて引越し屋のリサイクルショップを開く。
2002年 名古屋市内に遺品整理会社「キーパーズ」を設立。刈谷市に名古屋支店開設。
2003年 キーパーズ東京支店、大阪支店を開設。04年 福岡支店設立。
2005年 引越し・リサイクルショップ閉店、遺品整理業に特化。
2006年 著書『遺品整理屋は見た!!』を刊行し、以後マスコミで話題になる。

—ブログ「現実にある出来事」は、目線が暖かいですね。

吉田：もともとブログは求人のために始めました。仕事の内容を書いて、自分の考えを添えると、会社の業務への理解が早い。さらに現実の出来事を描いたら、一日に数千人が見てくれるようになったのです。そのうち出版の話も来るようになり、自著を出版したらベストセラーになったのです。最近ではキーパーズというブランドを知っていてくる人も増えて、今後はブランド力をどう伸ばしていくかがテーマですね。

実はこのビジネスを始めてから、需要はあるが遺品整理をビジネスとして続けることには葛藤がありました。便利なサービス業は、本来人間が持っている機能を弱めることになるからです。

遺品は、本来遺族が片付けるのがベストですが、実際に身内の遺品整理に時間を取る余裕のない方がとても多いのが現実なのです。身内の遺品整理を初めからやる気のない人が増えるのも問題です。しかし、現実には困っている遺族が多く、お手伝いをするとても感謝の言葉をたくさん頂けるので、現在はその葛藤は無くなり自信をもって提供しています。

—「孤独死」の老人を扱ったアニメDVDも製作されて、無料で配布されていますね。講演会の依頼もあると聞いています。

吉田：行政やNPOなど様々な方からも話を聞きたいと言われ、月に何度かは講演に出向いています。このDVDを見てもらい、ショックを受ける事によって自主的に孤独死を避けたいという気持ちを持ってもらうのが狙いです。自宅での変死が減れば不動産価値の下落を防ぐ事にもなるのです。

無料で配布しており、行政の方も希望され勉強会に使っていらっしゃいます。計算が面倒くさいから、どんどんコピーして使ってくださいと言っています（笑）

東京支店の倉庫にて。各支店に祭壇を設けて、2ヶ月に1度、僧侶を招いて遺品の合同供養を行う。故人縁の品物が天国に届くようにとの願いをこめる。
<http://keepers.jp>



メンテ魂

その後、
お住まいはいかがですか

所在地：世田谷区
用途：長屋
構造：RC造
規模：地上4階
企画・管理：タカギプランニング
オフィス
設計：佐藤万芳
竣工：2003年5月



第19回 Quattro Porte

2003年5月に竣工した「Quattro Porte(クアトロポルテ)」は、4つの扉をもつ、「重層長屋」形式を取った賃貸住宅です。ほとんど共用スペースを持たず、4戸の住戸がそれぞれ独立したアプローチで、室内もまったく異なったプランの共同住宅になっているのです。「4戸すべてに住んでみたいくなるようなデザインを」というオーナーの希望に応え、設計者がデザインに工夫をこらし、これまでのところ、賃貸状況は順調とのことです。企画・管理のタカギプランニングオフィスの市川夏子氏と担当の馬場智子氏に聞きました。(竣工記事はホームページ ShinClub40 参照)

ー現在、お部屋の方はすべて入居者の方がいらっしゃるのですが、内部の撮影はできませんでしたが、「設備なども問題なく快適だ」と入居者の方に伺うことができました。

市川：そうですね。特に問題はないのですが、2階建しかなかった敷地裏側に3階建の建物が建ったため、1-2階の日照が多少落ちてしまいました。

この建物は、AからDまでの各住戸のプランが異なり、個別のアクセスが可能などが特徴となっています。A、Bは1-2階のメゾネットタイプ、Cは1-3階を、Dは1-4階までE Vでアクセスしています。入居されているのはクリエイター、アーティストといったお仕事の方が多いですね。

馬場：ただ一番大きなD号室は100㎡を越えるため、昨年来の金融環境の変化で住居利用のお客様を見つけるのが難しく、今回初めて事務所利用の方が入居されました。その際、各部屋をネットワークでつなぐための工事が必要となり、D号室は離れがあったり、メゾネットになっていたりするため、大掛かりな工事になってしまいました。

戸で引き込む想定になっていました。

馬場：また、各戸とも開口部の面積が大きいので、特注で設置したブラインドなどの退去時の掃除が結構大変です。外側の道路に面していない箇所は特注のものを用意せず、入居者にお任せにしても良かったかもしれないですね。

市川：クリエイターやアーティストの方が多かった弊社のお客様も、最近では一般のサラリーマンの方が増えています。ただ、この建物のように道路から各住戸へのアプローチが短く、共用部の少ないつくりに対しては、戸建感覚に近くなる一方で、住戸面積が大きい場合、家賃との兼ね合いでご理解いただけないケースもあります。家賃の高いお部屋を求めてこられる方は、分譲マンションのような共用部をイメージして建物を見に来られるケースが一般的ですね。

ーそうですか。本日はありがとうございました。

(なお担当のN主任によると、竣工後6年、設備関係はまだ問題がないが、コーキングはそろそろ場所によって劣化が始まる頃であり、随時対応していきたいとのこと。内装はコンクリート打ち放しで手をかけるところはほとんどなく、また外壁は10年過ぎから、ランデックスの再塗装などを視野に入れ、設備なども10年を目処に点検・計画していきたい、とのこと)



市川：インターネットについては、4住戸なので、集合住宅タイプが使えず、もともと戸建タイプでの対応となり、各住



①建物全景。隣はお魚屋さん。周辺は昔ながらの商店街。人情味のある下町の雰囲気を残す②今は空いている駐車スペース③エントランスの上部の梁の汚れが目立ち始めている。洗浄が必要か。上部のガラス屋根は年に1度清掃している④外部から各戸のアクセスは4つのドアだけである。外からはどのようなつながりになっているかわからない

TOPICS/INFORMATION

「(仮称) 高円寺南アパートメントPJ 新築工事」地鎮祭 6月12日

高円寺と阿佐ヶ谷の中間に位置する集合住宅です。



構造：RC造
規模：地下1階 地上3階
用途：共同住宅
設計：谷内田章夫 / ワークショップ
完成予定：2010年2月

「(仮称) 南青山1丁目ビル新築工事」地鎮祭 6月30日

全フロア自社で使用する事務所ビルです。



構造：RC造+S造
規模：地下2階 地上5階
用途：事務所・駐車場
設計：山内建築設計事務所 + テック建築設計事務所 + アルキセット総合計画事務所
完成予定：2010年8月

「中台の家TH邸 新築工事」上棟式 6月21日

中台の高台に立つ大きな2世帯住宅です。



構造：RC造
規模：地上2階
用途：専用住宅
設計：椎名純建築事務所
完成予定：2009年8月

編集後記

・「Front Line」でご紹介した遺品整理会社キーパズのホームページでは、「エンディングノート」を無料で配布しています。ほかにも葬儀にまつわるいろいろなサービスや協賛活動が見られ、社会的貢献度の高い企業であることがわかります。